

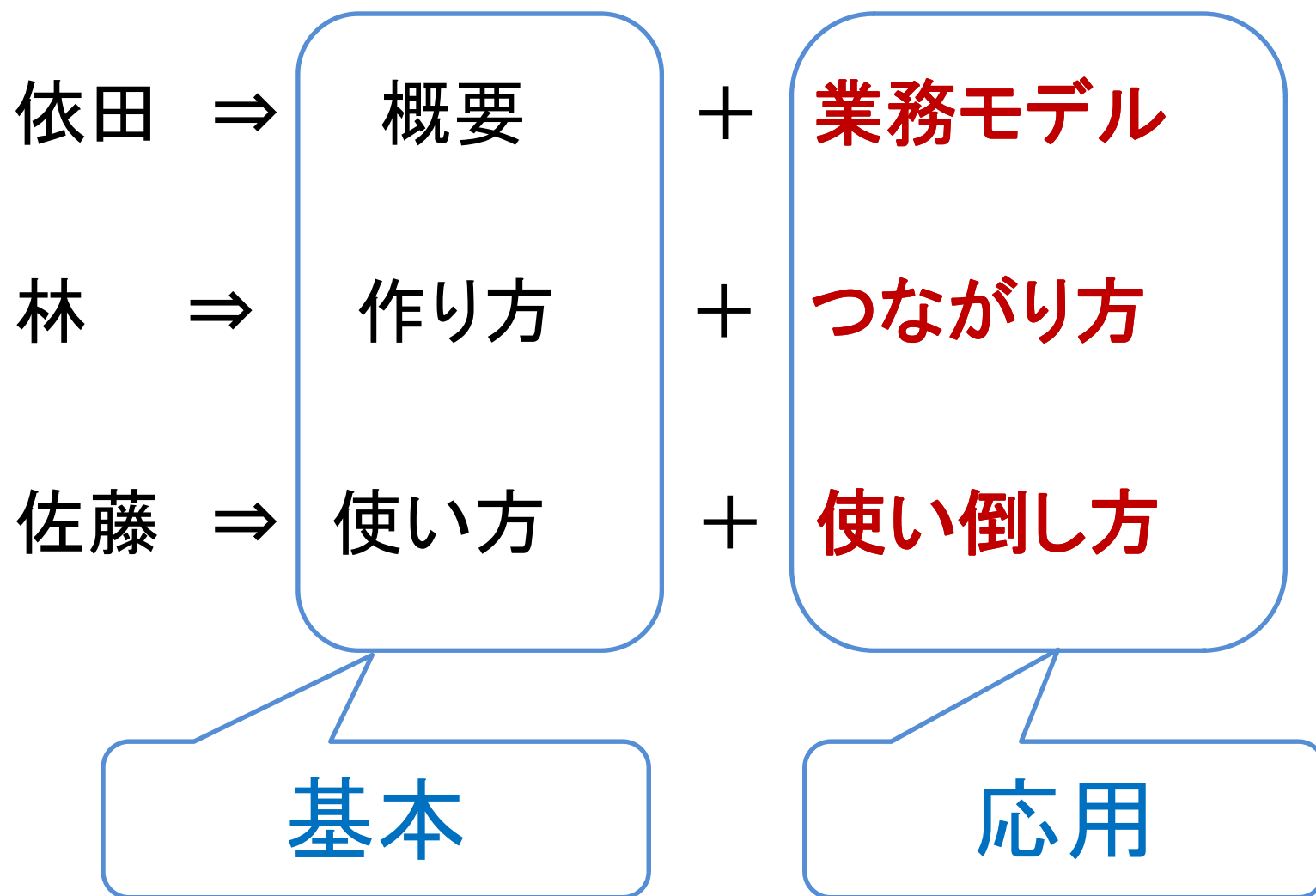
カレントアウェアネス・ポータル の概要

国立国会図書館関西館
図書館協力課調査情報係長
依田紀久



最前線はどこ!?
まって～。

前半のプレゼンでお話すること



自己紹介

2002年 関西館設立の年に就職

2003年～2006年 レファレンス協同データベース
(立ち上げ～本格事業化の事務局)

2006年 CAポータル立ち上げ時に調査情報係に在籍
その後 ⇒在外研究(ピッツバーグ大学大学院)
調査及び立法考査局

2012年4月～ CAポータル担当

お話すること

3つ のことを

「イメージ」できるように。

お話すること

全体像

CAポータルコンテンツの全体像

利用者像

CAポータルを使っている人の姿

概念図

- 関係者コミュニティー
- 業務モデル
- 最前線の捉え方

1. 全体像

CAポータルコンテンツ

1. 全体構成は？

CA-R、CA-E、CA、調査研究

The screenshot shows the homepage of the Current Awareness Portal. At the top left is the logo 'CA Current Awareness Portal' with the subtitle '図書館に関する情報ポータル'. To the right are language selection options for 'English' and '日本語'. A search bar with a '検索' button is located in the top right. Below the search bar is a '文字サイズ' (font size) adjustment section with 'A' and 'A' buttons. A navigation menu contains buttons for 'CA-R', 'CA-E', 'CA', and '調査研究'. A red banner below the navigation menu contains the text: 'カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。' The main content area is divided into two columns. The left column is titled '最新ニュース「カレントアウェアネス-R」(CA-R)' and lists several news items with dates from 2013-10-16 to 2013-10-17. The right column is titled '東日本大震災 関連情報' and lists related information including a news article, a survey report, and a support page for the National Diet Library. At the bottom right of the main content area, it says 'Twitterでの情報提供を行っています。'

1. 全体構成は？

CAポータル

= CAシリーズ + 調査研究

= { CA-R + CA-E + CA } + 調査研究

CA-R

配信：毎日

件数：1日6～10件程度

= 月間150～200件程度

= 年間1800～2000件程度

（累積） 16000件突破！

CA-Rは図書館員の「新聞」

CA-R

性格：速報性重視でニュースを伝える

CA,Eのネタ帳（**業務ツール**）

ライター：調査情報係が執筆

（係**3**人 + 非常勤調査員）

※情報提供、歓迎します。

CA-E

配信： 隔週（木曜・ランチ）

件数： 年22回

年間130本程度

（累積）もうすぐ1500本！

CA-E

記事タイプ: 事業紹介、文献紹介、インタビュー
etc.

分量: 1,500字

位置づけ: 刊行物 (ISSN 1347-7315)

ライター: 以前⇒ 係員執筆中心

最近⇒ **外部執筆比重増加中!**

企画: **調査情報係 (時々持ち込み企画)**

※執筆希望、企画提案、歓迎します。

CA

配信：季刊（3月、6月、9月、12月刊行）

分量：28ページ

性格：刊行物（ISSN 1348-7469）

記事種別：

一般記事3,000字 **軽め読みもの**

動向レビュー6,000字 **事業等の流れを整理**

研究文献レビュー10,000字 **研究の流れを整理**

ライター：その分野に詳しい専門家、その分野に熱い人

CA

企画：

編集企画会議

= **総勢20名ほどによる企画立案**

(編集企画員、編集協力員、調査情報係＋非常勤調査員、図書館協力課長・課長補佐)

編集：

調査情報係による**校正** (いわゆる“査読”ではない)

編集企画会議メンバーからの事後的講評

※ 依頼を受けたら、是非お受け下さい。

調査研究

刊行媒体：調査研究レポート、図書館研究シリーズ

刊行頻度：原則年刊

業務形態：委託による調査が中心
(シンクタンク＋図書館情報学の先生など)

テーマ：

2011 東日本大震災と図書館

2012 レファレンスサービスの課題と展望

**2013 地域活性化志向の公共図書館における経営
(新しいサービスはどのようにして生まれるのか！？)**

(質的フィールド調査＋モデル提示)

**2月か3月に
報告会！
(東京)**

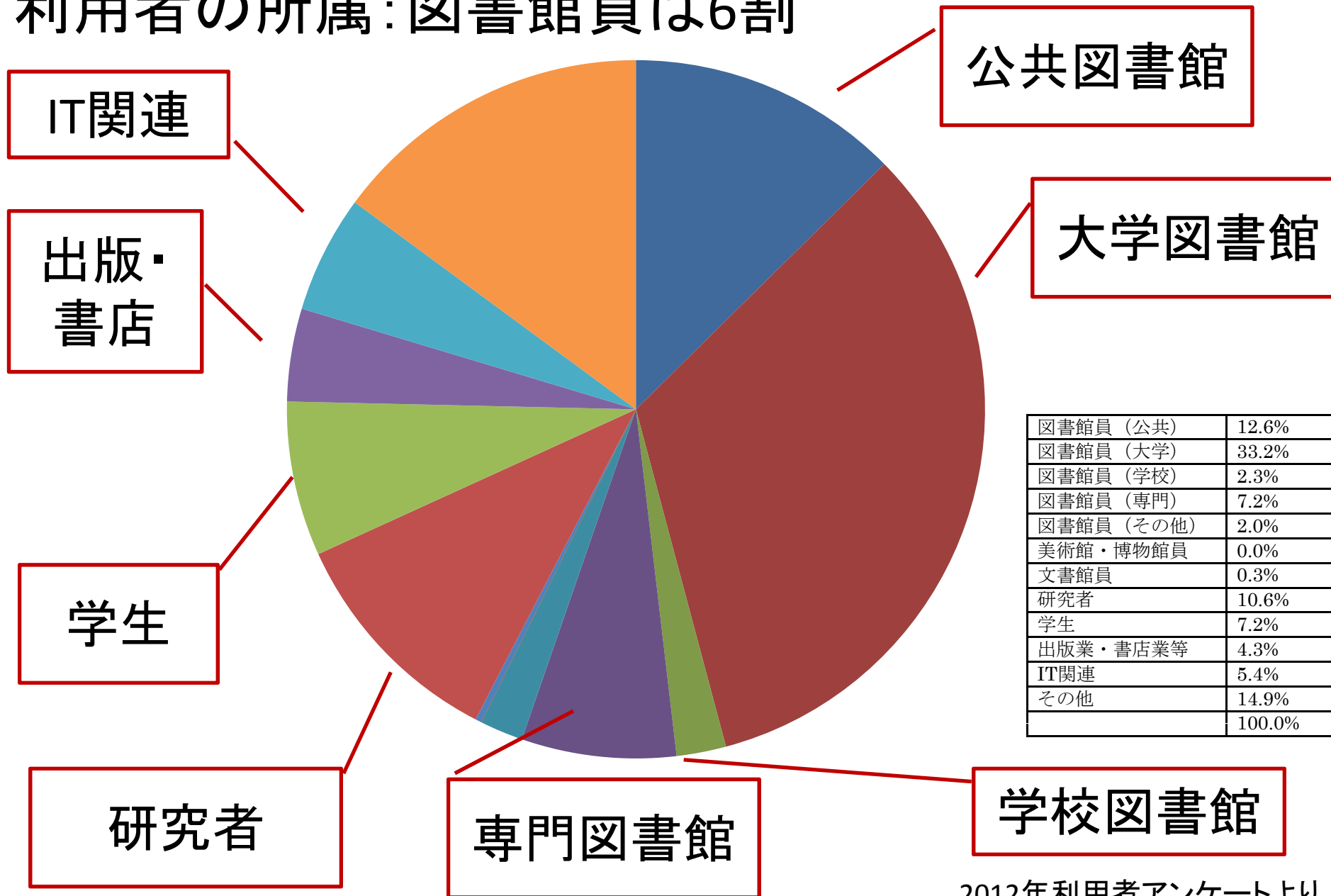
2. 利用者像

利用者はどんな人？

利用者像

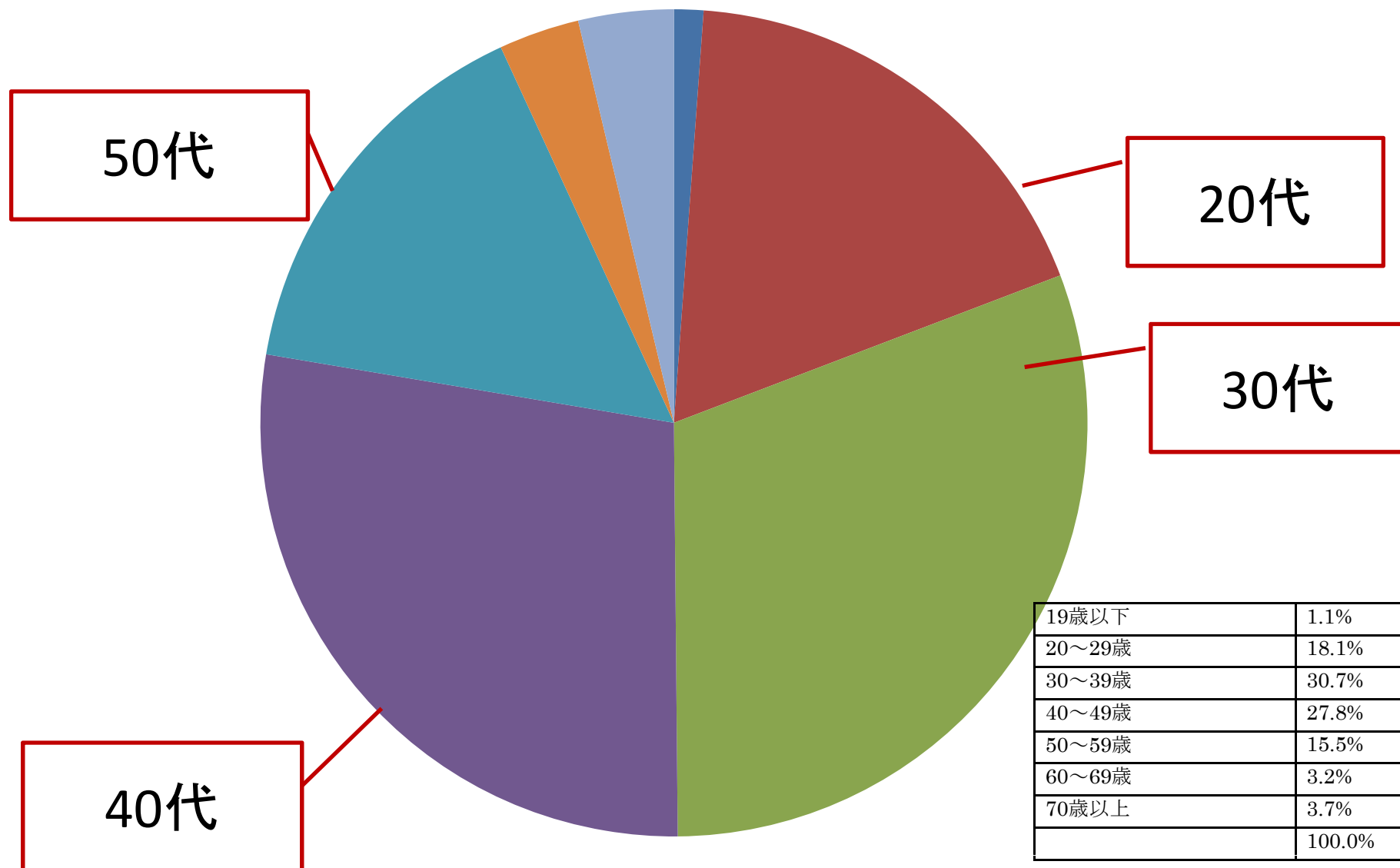
- 図書館員
 - 図書館学の学者
 - システムベンダーのひと
 - 図書館業務を受託する会社のひと
 - 書店員
 - 出版社のひと
 - 新聞記者
 - 図書館で働くアルバイトさん
 - 司書課程の学生さん
- etc

利用者の所属：図書館員は6割



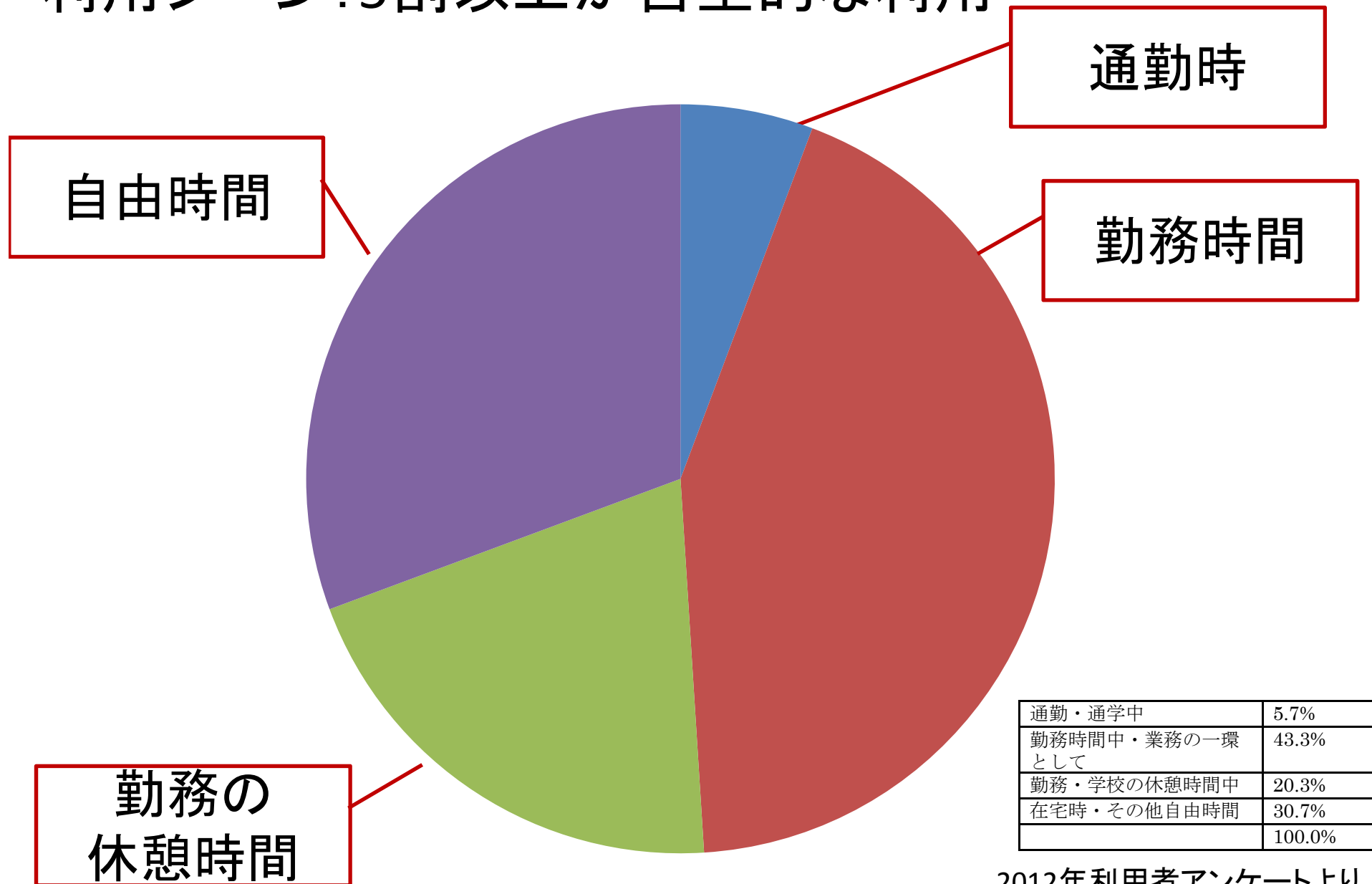
2012年利用者アンケートより

利用者の年齢：30～40代に固定ファン



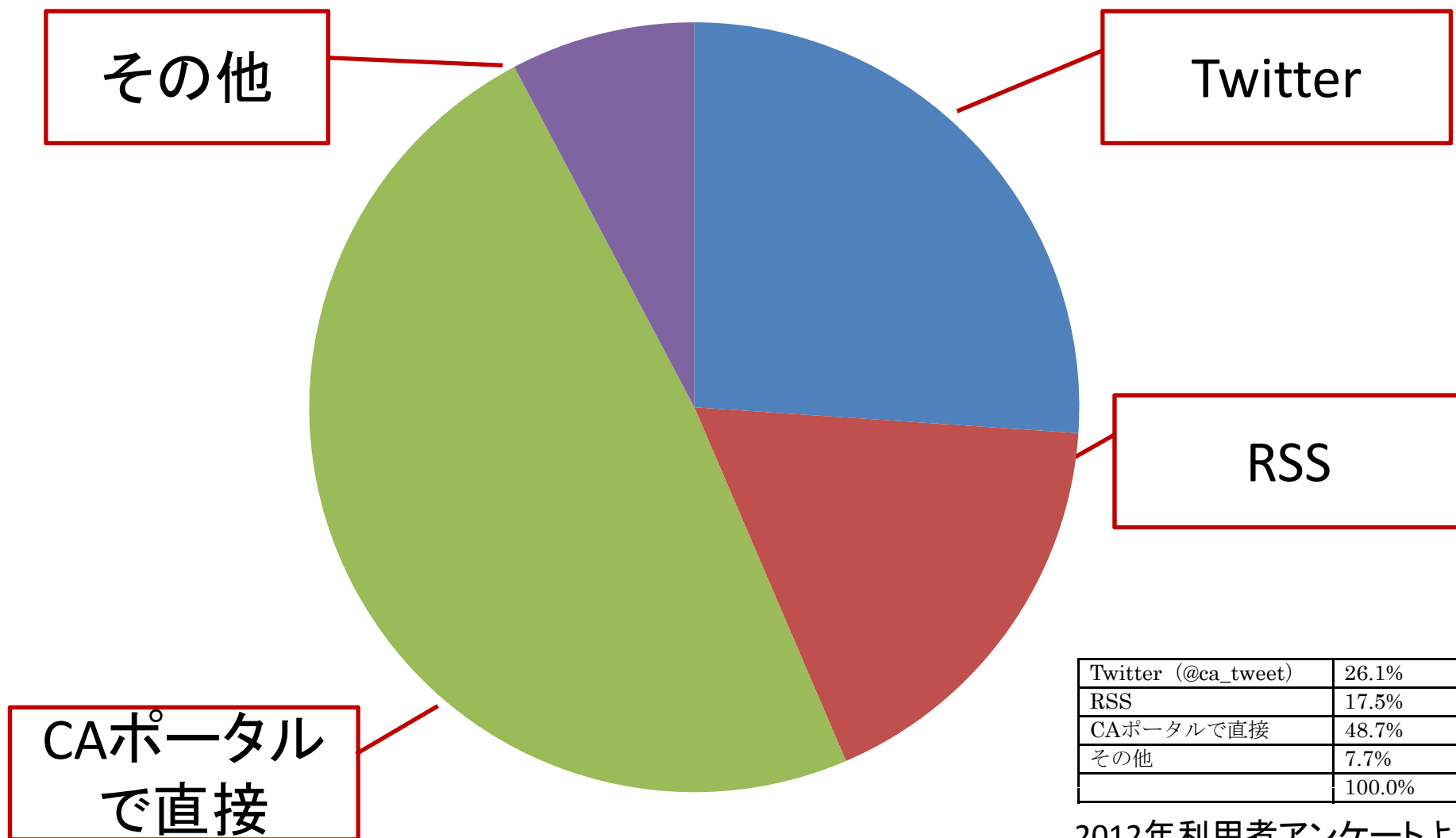
2012年利用者アンケートより

利用シーン: 5割以上が自主的な利用



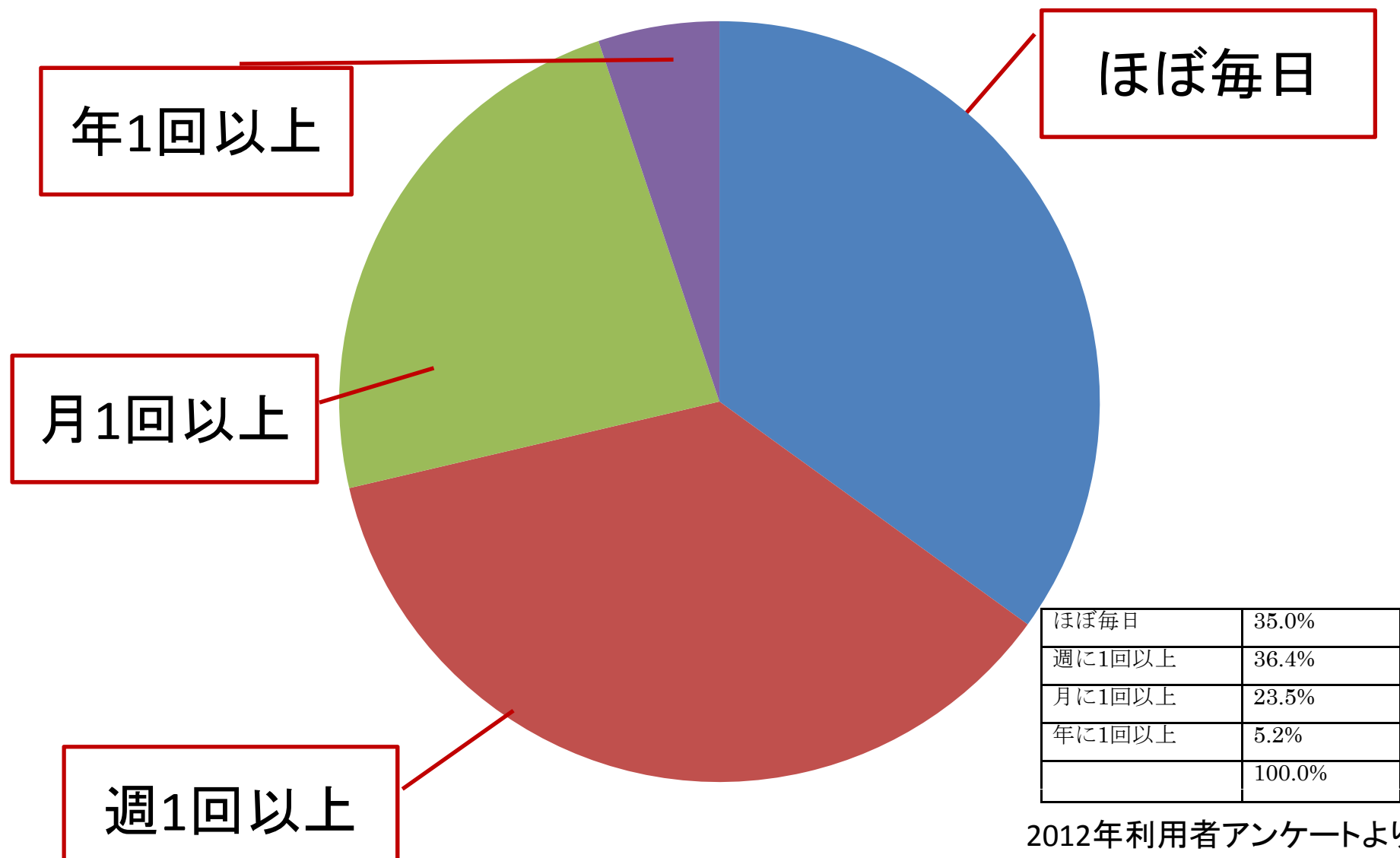
2012年利用者アンケートより

更新情報の把握：Twitter、RSSが4割強



2012年利用者アンケートより

利用頻度：7割以上が週1以上の利用



たくさんのプロたちがCAポータルを使っている。

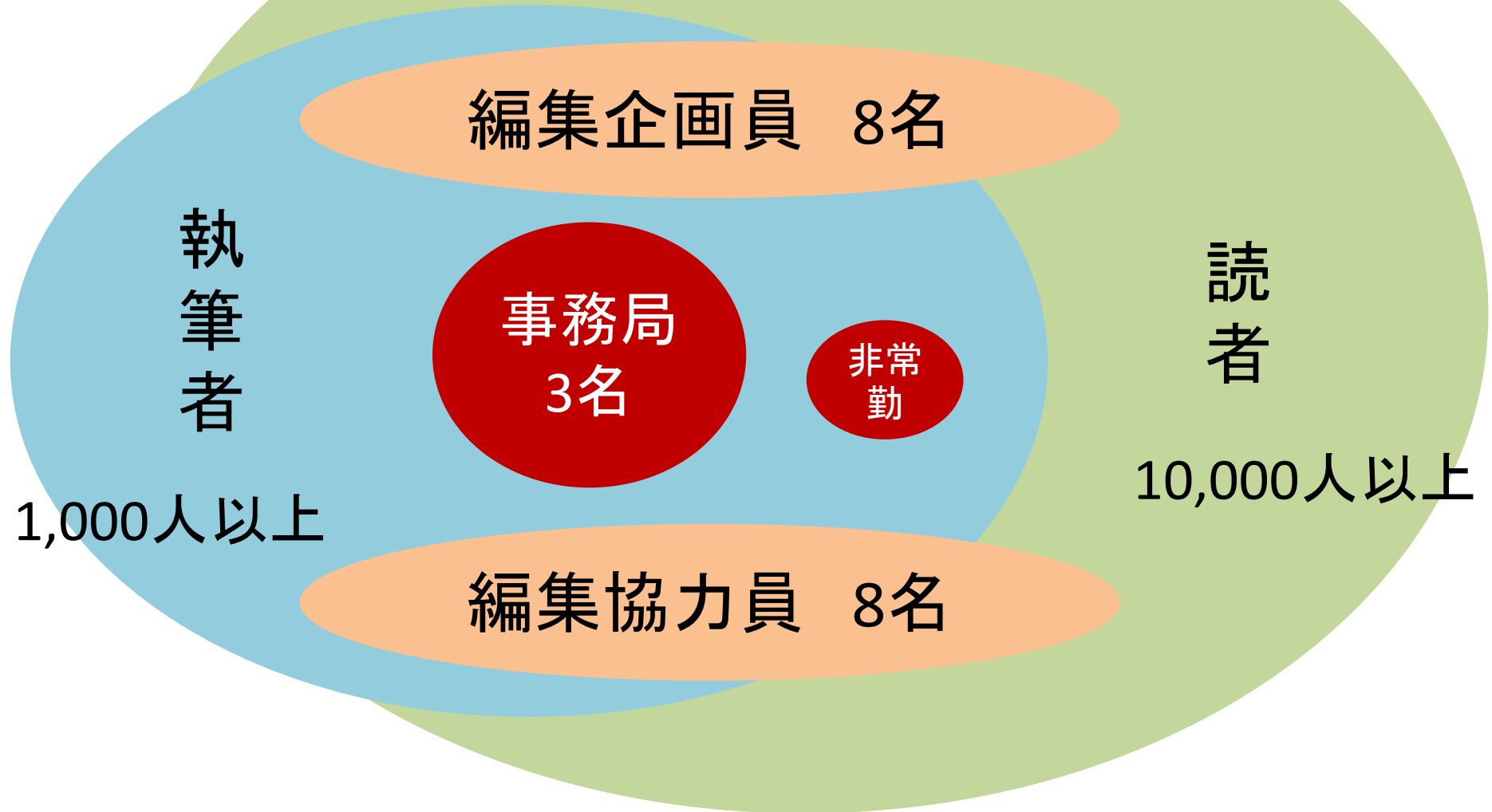


1つの**プロフェッショナルツール**を共有している。そして、それを通じて、会話ができる。

3. 概念図

- 関係者コミュニティ
- 業務モデル
- 最前線の捉え方

3(1) 関係者コミュニティ (サービスの提供者と受益者の関係)



3(2) CAポータルモデル

カレントアウェアネスサービスとは、

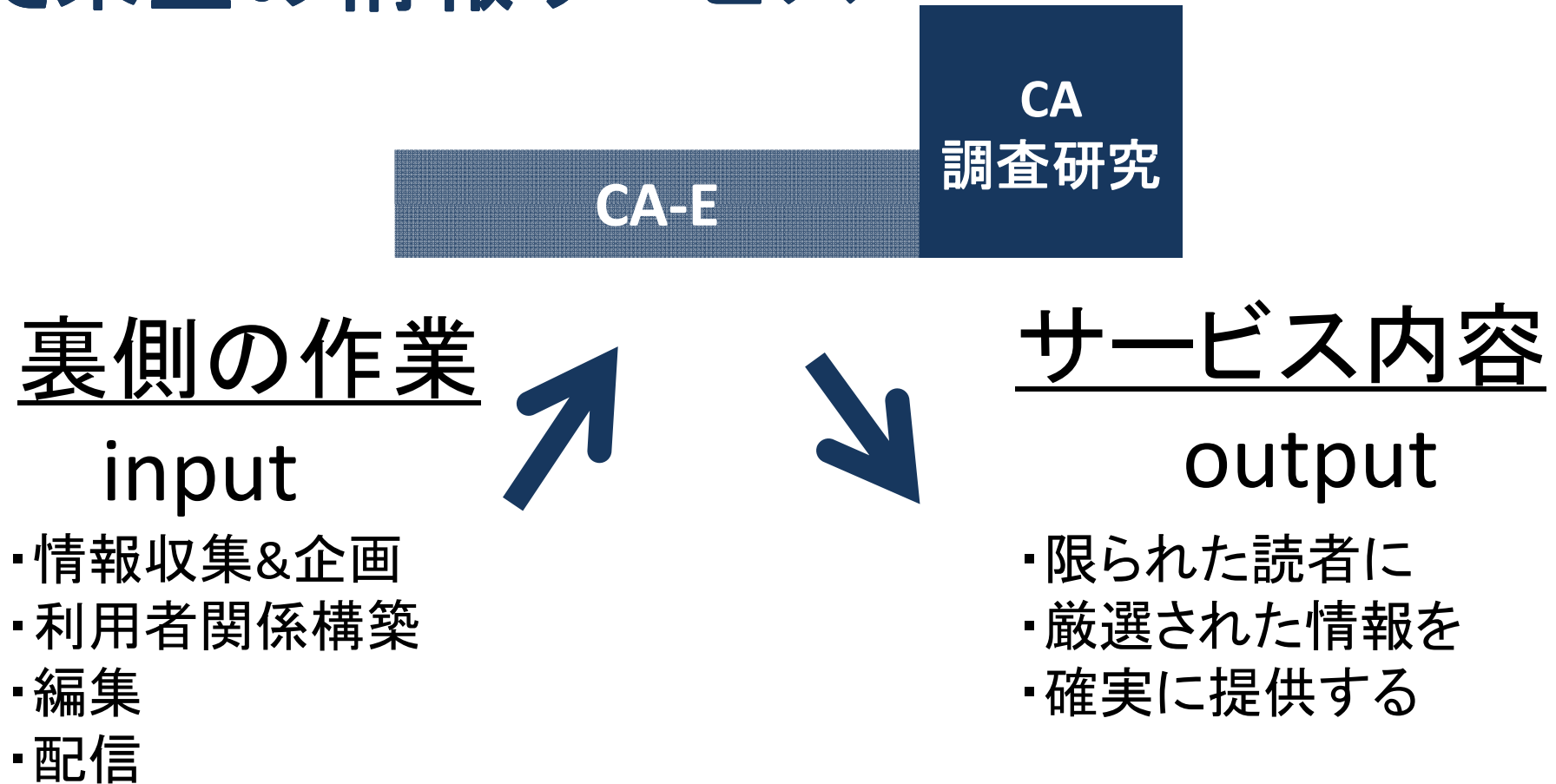
「図書館その他の情報機関が利用者に対して最新情報を定期的に提供するサービス。」

出典：『図書館情報学用語辞典』（第3版）

3(2) CAポータルモデル

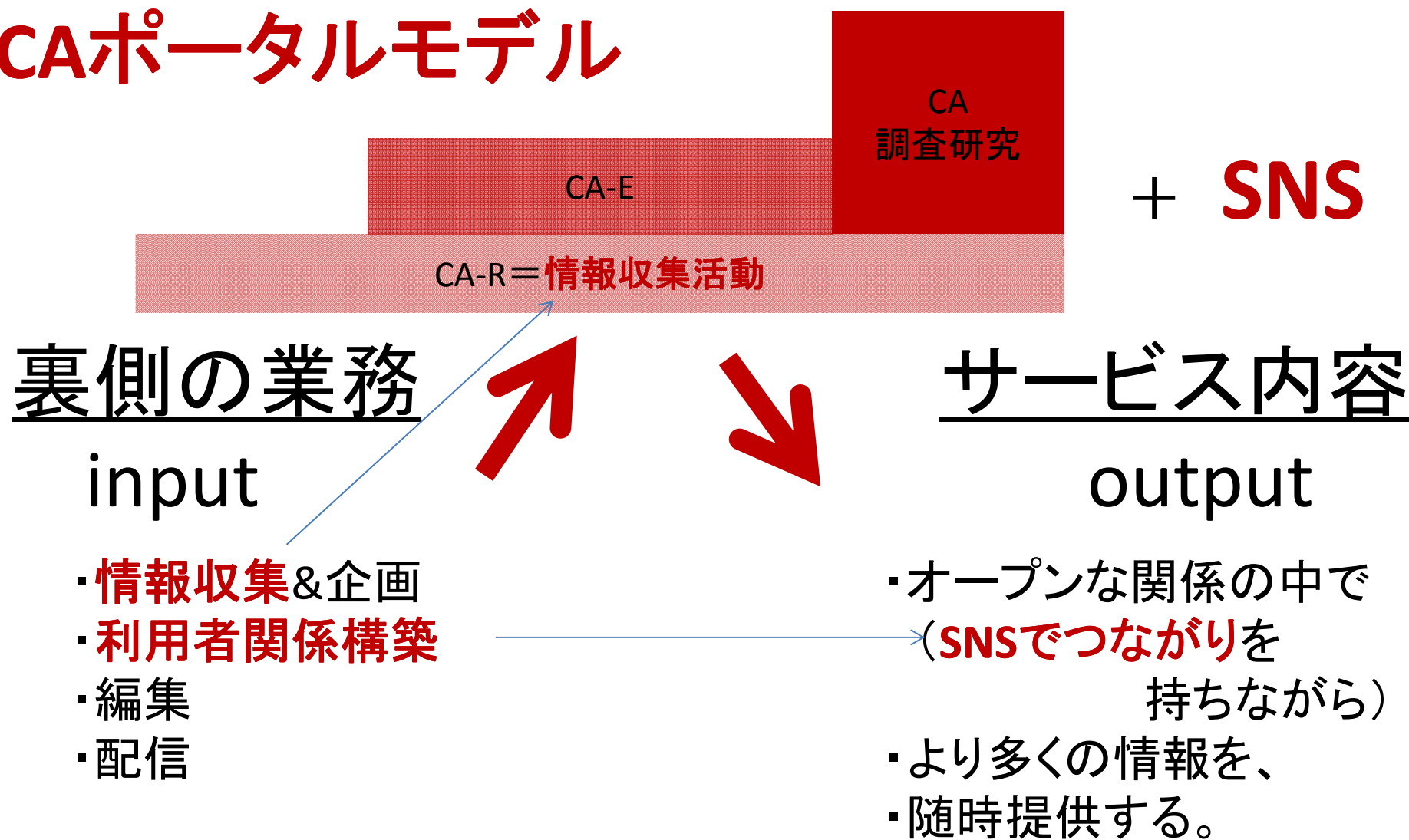
CAポータルは、
図書館の情報サービスの、
新しいモデル。

従来型の情報サービス



時代のニーズにあっていない
情報サービスは、すたれる！

CAポータルモデル



**裏側の仕事をサービスにすることで、業務量を
(あまり)増やさずにサービス満足度UP!!**

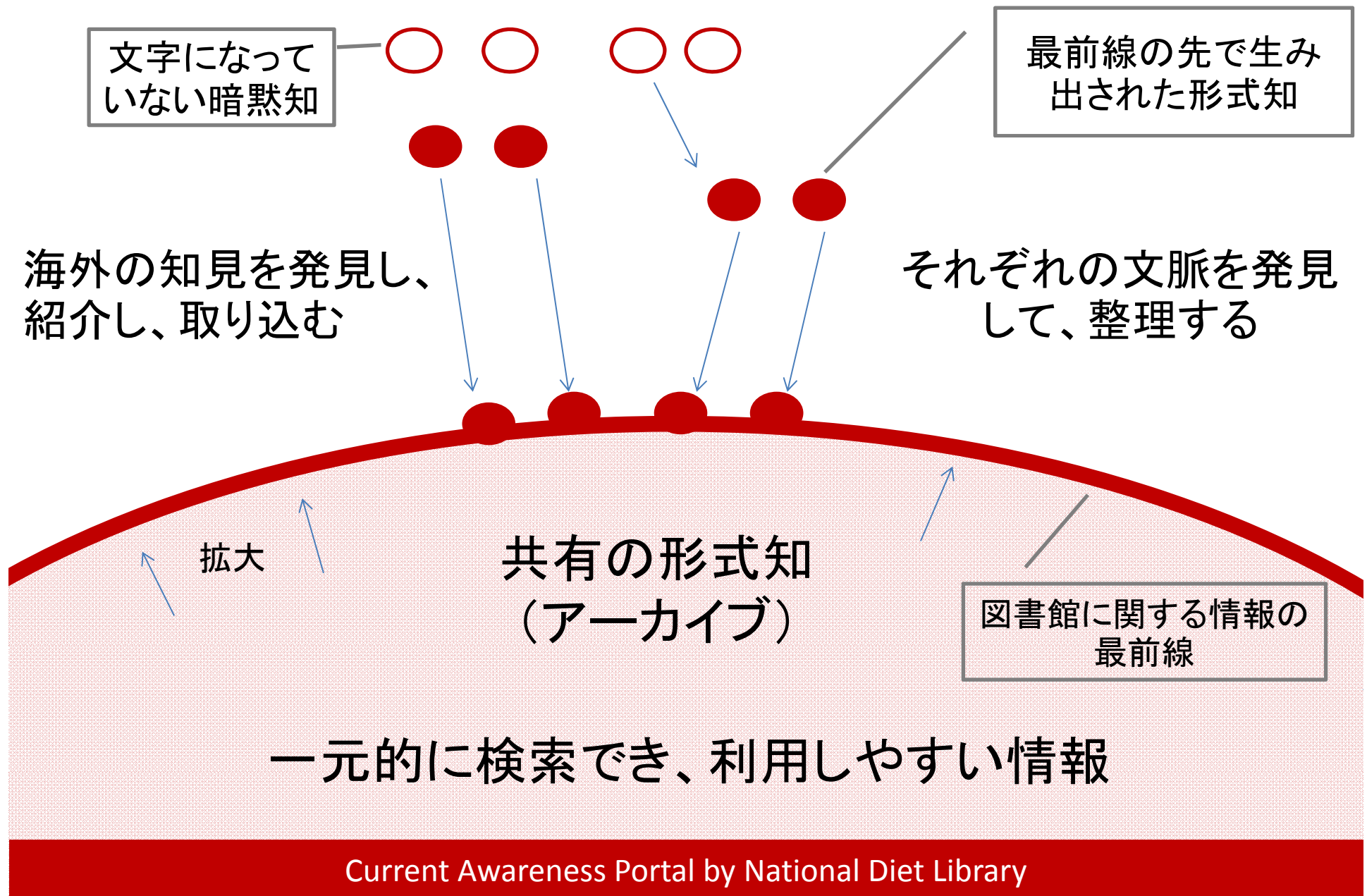
3(2) CAポータルモデル

(情報サービスとしての)CAポータルモデルは、まとめて表現すれば、

速報性のあるメディア(CA-R)を土台にしつつ、
発信までの工程数と記事あたりの情報量の異なる複数のメディア(CA-R、CA-E、CA、調査研究)を組み合わせて、“いま”を伝え、さらに“いま”に至る文脈を容易にたどれるよう、すべての情報をウェブ上にアーカイブし提供する、という運営の仕組みである。

CA1788 カレントアウェアネス・ポータルのいまを“刻む”:情報収集活動と未来へのアイデア
依田紀久, 林 豊, 菊池信彦 参照

3(3) 図書館に関する情報の最前線



まとめ

CAポータルは、図書館に関する情報の
最前線を前へ進めるメディアです。

そして、

CAポータルモデルは、図書館の
情報サービスの新しいモデルです。